

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	交流・環境	25年度事業・施策評価結果			責任者	港営部 管財課長
施策名	良好な港湾環境の形成	成果	コスト			
事務事業名	貸付地の管理・運営	継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7876
目的	対象(誰・何を)	貸付地			事業 期間	昭和26年度～継続
	意図(どうい う状態にしたいか)	適切な状態で管理する				
概要	貸付地の適正管理のため巡視を行い、状況把握をします。あわせて、ゴミの不法投棄を防ぐため、必要に応じ防護柵等の予防設置を講じます。				根拠 法令等	
活動内容	貸付地を適宜巡視し、良好な状態を維持します。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	24年度	25年度	26年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	0	0	
人件費	千円	8,716	8,760	8,809	8,762	
合計	千円	8,716	8,760	8,809	8,762	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
巡視の回数(回) (単年度管理型)	目標	-	-	48	48		管理第一及び第二係が月2回巡視を実施しています。	
	実績	48	48	48				
	事業進捗状況(平成26年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
不法投棄の件数 (件) (単年度管理型)	目標	-	-	10	10		貸付地にかかる不法投棄の件数をカウントします。月1件程度不法投棄を確認している中で、目標値程度に件数を抑制する目標です。	
	実績	12	13	13				
	事業進捗状況(平成26年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	不法投棄の件数が大幅に増加することなくほぼ横ばいであるということは、巡視による定期的なごみの回収が不法投棄の抑止につながっていると思われます。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 公有地の貸付料収入は貴重な自主財源であり、良好な港湾行政を運営していくうえで貸付地を適切に利用できる状態に維持することは、名古屋港の利用者ニーズを踏まえても必要なことです。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 多忙な業務の中、月2回の巡視はコスト面からも必要最小限の回数であり、また、適正な港湾エリアの利用に寄与しているものと思われます。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 貸付業務と貸付地の管理は密接な関係にあり、必要最低限の範囲で巡視を行っています。						

4 ACTION(取組)

課題	27年度以降の取組
不法投棄の抑制を行っていくことが必要です。	秩序ある港湾環境形成に資するため、引き続き巡視を行い、不法投棄の回収を行います。